

令和4年度第1回小牧市地域包括支援センター運営協議会 議事録

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時   | 令和4年5月26日（木） 13時30分～15時00分                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 場 所   | 小牧市役所 本庁舎4階 404会議室                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 出 席 者 | <p>【委員】（敬称略）</p> <p>長岩 嘉文 日本福祉大学中央福祉専門学校<br/> 佐々木 成高 小牧市歯科医師会代表<br/> 福澤 広 小牧市薬剤師会代表<br/> 櫻井 佐穂 公益社団法人 愛知県歯科衛生士会代表<br/> 里見 正弘 小牧市介護支援専門員連絡協議会代表<br/> 田中 秀治 一般社団法人 愛知県社会福祉士会代表<br/> 野口 弘美 保健センター所長補佐<br/> 木村 正尚 小牧市民生・児童委員連絡協議会代表<br/> 堀江 京子 介護サービス相談員連絡会代表</p> <p>【欠席委員】</p> <p>前川 泰宏 一般社団法人 小牧市医師会代表</p> <p>【事務局】</p> <p>伊藤 俊幸 福祉部 部長<br/> 松永 祥司 福祉部 次長<br/> 西島 宏之 福祉部 地域包括ケア推進課長<br/> 平手 明仁 福祉部 介護保険課長<br/> 倉知 佐百合 福祉部 地域包括ケア推進課福祉政策係長<br/> 吉嶺 涼太 福祉部 地域包括ケア推進課福祉政策係主事補<br/> 三嶋 直美 南部地域包括支援センターケアタウン小牧管理者<br/> 青木 翔太 小牧地域包括支援センターふれあい管理者<br/> 金田 泰丈 味岡地域包括支援センター岩崎あいの郷管理者<br/> 高田 かおる 篠岡地域包括支援センター小牧苑管理者<br/> 岡田 江里子 北里地域包括支援センターゆうあい管理者</p> |
| 傍 聴 者 | 0名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 配付資料  | <p>次第</p> <p>資料1 令和4年度小牧市地域包括支援センター運営方針<br/> 資料2-1 令和4年度 小牧市地域包括支援センター事業計画書 一覧<br/> 資料2-2～2-6 各地域包括支援センターの事業計画書<br/> 資料2-7 各部会事業計画書<br/> 資料3 介護予防プラン作成委託業者の承認案件に係る持ち回り審議結果について<br/> 小牧市地域包括支援センター運営協議会委員名簿<br/> 配席表<br/> 参考資料1 各包括・圏域状況一覧<br/> （追加資料） 第1号介護予防支援事業及び介護予防支援 業務委託契約に係る審議について</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

主な内容

1. 開会
  - (1) 委員の変更・人事異動

- ・里見委員自己紹介
- ・事務局より小牧地域包括支援センターふれあい管理者が青木管理者に変更したことの報告
- （１）あいさつ
- ・伊藤福祉部長あいさつ
- ・長岩会長あいさつ

## 2. 議事

- （１）令和４年度小牧市地域包括支援センター事業計画について

### 【Ⅰ地域のニーズに応じて重点的に行うべき業務について】

### 【Ⅱ介護事業者、医療機関、民生委員・児童委員、ボランティア等の関係者とのネットワーク構築について】

- ・事務局より、資料 2-1 を用いて説明。
- ・質疑、主な意見は以下のとおり。

#### ○櫻井委員

- ・フレイルについて知らない衛生士がいる中で、高齢の方々がフレイルを知っているかどうかは疑問である。
- ・窓口でどのようにフレイルの入口を作っているのか。また、フレイルチェック質問票では具体的にどのような質問をしており、どう進めているのか。

#### ○事務局

- ・「最近体重が 2、3 キロ減ったか」「食欲が無いか」といった 15 の項目で日々の体調のことについて質問をしている。
- ・例年 6 月から 7 月にかけて、無作為抽出した約 1,000 名の 70 歳の方などにフレイルチェック質問票を送っている。質問票と回答については集計し、回答していただいた方々に介護予防や栄養改善についてなど、アドバイスをつけて集計結果を返している。

#### ○櫻井委員

- ・今後どのようにしていくのかお聞きしたい。

#### ○事務局

- ・その後については、フレイルチェック質問票で民生委員に一人暮らしであることをお知らせしていいと回答した方については、リストにまとめて民生委員へ情報共有をしている。
- ・フレイルチェック質問票の結果、改善が必要という方には各地域包括支援センターへ連絡をし、電話や訪問によるフォローにつなげている。
- ・高齢者の方はフレイルを理解しにくい部分もあると思うが、フレイルについてのお尋ねがあった際には説明させていただき、理解を深めていただくという考えで使っているのが現状。

#### ○佐々木委員

- ・小牧市歯科医師会の方でも高齢者の口腔機能低下症の健診を、来年か再来年くらいに保健センターで行おうと鋭意準備している。

### 【Ⅲ介護予防に係るケアマネジメントについて】

### 【Ⅳ介護支援専門員に対する支援・指導について】

- ・事務局より、資料 2-1 を用いて説明。
- ・質疑、主な意見は以下のとおり。

#### ○田中委員

- ・どこの地域包括支援センターもケアマネジャーへの介護プランの委託がなかなかできない現状になっている。ケアマネジャーの会からも今年度は 8 人ほどが退会しており、会員の 3 割近く

が60歳以上、30代の方が6人しかおらず、介護予防の委託そのものが今後できなくなっていく懸念がある。ケアマネジャーからは地域包括支援センターの支援について厳しいご意見をいただいております、地域包括支援センターとしても対策をしていく必要がある。

- ・どの地域包括支援センターも支えあい推進員と連携し、定例会を行いながらそれぞれの地区の中で支え合いの仕組みづくりに視線を向けながら取り組んでいただいている。
- ・地域住民で支え合う仕組みについてを今後部会でも取り上げていただき、検討していけるとよいと思う。

○長岩会長

- ・田中委員の分析では直接のケアサービス、ハンドサービスの部門に人が足りなくなっているため、従来はそこから少し現場を離れて介護支援専門員の仕事に移っていた方々が、そのようなルートに乗りづらくなっており、結果として包括から介護予防プランの委託ができない、あるいは戻されるようなところは、共有できる認識か。

○事務局

- ・委託については委託先から戻ってくるといった状況的に難しい状況であることは聞いている。
- ・現在、担い手世代がかなり高齢化している話については認識していなかった。

○木村委員

- ・利用される住民の方にフレイルという言葉がどこまで浸透しているか、言葉がなかなか分からないために、地域包括支援センターのほうに相談する事例もどういうことをしていったらよいかということが散見できる。
- ・南部地域包括支援センターでやっている、居宅介護支援事業者のケアマネジャーと個々でつながって担当者を決めているのは非常に評価ができる。

○事務局(南部地域包括支援センター)

- ・ケアマネジャーの委託の関係については、先の話にもあった通り本当にケアマネジャーの数が小牧市に限らず減っている。そのため、地域包括支援センターで介護予防支援を請け負っていかなければいけないと考えている。
- ・介護予防支援のこともあり地域づくりは後回しにされがちではあるが、田中委員の話にあったように介護予防サービス、介護保険のサービスだけではなく、住民や地域でやらなければと住民に思っていていただく仕掛けづくりは続けていかなければならないと思っている。
- ・現実はまだなかなか地域づくりに取り組めていないと思いつつも、支えあい推進員とも交流を続けていく中で一緒に考えていく相手がいるというのは心強いと感じている。

○長岩会長

- ・介護予防プランが委託できなくなることについて地域包括支援センターが打てる手としては、地域包括支援センターの中でプランナーを確保するくらいしか手はないか。

○事務局

- ・その通りである。地域包括支援センターもいろいろな職種で求人をしていても、なかなか募集が来ないと聞いている。居宅介護支援事業所と同じ悩みではあると思うが、今より職員がプラン数を多く持っていく流れになっている。

○長岩会長

- ・愛知県は介護支援相談員の合格者数は結構な数がある。合格者がストレートに介護支援専門業務に移行していないという実態には、田中委員の話されたような理由があるかもしれない。

【V 地域ケア会議について】

【VI 権利擁護事業について】

・事務局より、資料 2-1 を用いて説明。

・質疑、主な意見は以下のとおり。

○田中委員

・地域ケア会議でどのような問題が共有されているのか、どのような施策に結び付いてきたのか教えていただきたい。

○事務局

・地域ケア会議の中でよく出される事案として、なかなか外出ができない高齢者の方が見えるケースでの話し合いを聞いている。そのため本年度10月から高齢者の外出支援サービス、要介護1以上の方へのタクシー基本料金、初乗り料金を助成する給付を行う予定であり準備を進めている。

○里見委員

・地域ケア会議は地域の課題解決に向けた建設的な話ができる場であり、有効であると思う。  
・地域ケア会議について地域住民の方と利用者本人の理解と協力を得られて開催できているか。  
・今後開催をもっと前に前進させるにはどうすればよいか考えがあれば聞かせていただきたい。

○事務局（北里地域包括支援センター）

・本人にはこれからどうやって在宅を続けていくかということについて、話し合いを開催させていただきますということを説明している。本人が参加する場合もあるし、家族だけが参加する場合もあるというような状況になっている。  
・困難事例になればなるほど開催までの準備に時間と労力と理解をいただくため、時間経過と支援が必要になってくるのが実情である。

○長岩会長

・地域ケア会議に必要な職種に声をかける際、二つ返事で出てくれるものなのか。ハードルの高いところもあるのか。

○事務局（北里地域包括支援センター）

・どうしても医療の面で主治医の先生に地域ケア会議を開催する御案内と、こういう理由で会議を開催するという趣旨の説明に伺っている。在宅で訪問診療をしている先生は参加いただくこともあるが、地域ケア会議もサービス担当者会議も開業医の先生は時間的に難しいため、あらかじめ先生と面談をし、先生からのコメントを頂戴することで連携を取らせていただくという方法をとっている。

○長岩会長

・昔からある課題ではあるが、地域の方に地域ケア会議に参加していただいた際に秘密保持義務は主催者として徹底しているのか。

○事務局（北里地域包括支援センター）

・開催する趣旨を案内する前に守秘義務を守っていただくルールを書いたものを毎回配って説明をしている。また資料については、個人情報に関わる部分は全て回収しており、会議をした後どうなったかという報告は、個人情報に触れない部分でお礼状と共に各地域包括支援センターが伝えている。

○長岩会長

・非常に丁寧で良いと思う。  
・味岡地域包括支援センターの記載で、オンラインでの開催もできるように環境整備を図っていくという表現があったが、これは現状では対面開催で何とかやっており、さらにコロナウイルスの影響が続くのであればオンラインの環境も整えないといけないという理解でよいか。

○事務局（味岡地域包括支援センター）

- ・その通りである。1 ケース、親が一人暮らしでありコロナ禍で遠方の御家族が帰って来られないというケースで会議を開催したときに、オンラインでつないだことがあったため、環境整備もしっかりと行いたいと思っている。

○長岩会長

- ・経済的な負担はそれほどないのか。

○事務局(味岡地域包括支援センター)

- ・委託料の中で賄っており特に負担はない。

○堀江委員

- ・自分には関係ないと思い生活していたのが、高齢化により介護をする人が増え、現実が目当たりになってきたときに慌てて、包括や介護について勉強を始めようとしている方が多くいる。
- ・近隣住民が地域包括支援センターへ家族を通さず連絡するのはと、躊躇してしまったケースがあった。
- ・地域包括支援センターが会議や回覧による情報の発信を行ってくれてはいるが、自分から地域包括支援センターへ相談しに行くことはハードルが高い人も多く、地域包括支援センターから住民にプラスとなる情報の発信を工夫して行っていただきたい。

○長岩会長

- ・地域包括支援センターの事業計画にもアウトリーチという言葉がある通り、自ら足を運んで活動されていると思うが、把握しきるのは難しいと思う。
- ・地域包括支援センターへつなげるのを躊躇してしまうことについては、ぜひ連絡してほしいと思う。

○堀江委員

- ・みんな家族に気付いてほしい、自分が言いたくはないと思っていると感じている。その家族が気づくにはもう少し底辺で発信していかないと伝わらないと思う。

○長岩会長

- ・堀江委員が工夫されていることは何かあるか。

○堀江委員

- ・一緒に散歩をする際に情報が入ってくるので、そのときに自分が知っている地域包括支援センターの話をするぐらいで、自分から発信することではなく、気づいたことに対しては伝えていくぐらいしかできていないのが現状である。

○長岩会長

- ・木村委員は工夫されていることは何かあるか。

○木村委員

- ・ごみ屋敷の片付けを3日間ほど行い、家に戻られる方の個別地域ケア会議に参加した。南部地域包括支援センターと市役所と民生委員も絡み、話を聞くと一番困っているのは日々のごみ出しだったため、本人の意見も聞いて今後の支援につなげた。
- ・地区の組費を払っておらず、広報や回覧板が届かないため情報が全く入らない高齢化してきた方々が今後心配である。中にはフードサービスで月に1回援助を受けないと生活ができないため区費が払えず回覧を諦めている方もおり、今後そういう方をどう拾い上げていくかが大きな課題であると思う。
- ・一人暮らし高齢者の方から私の家に電話があり、心配だから来てほしいと言われて行くと、結果的には話し相手がいないがために寂しかったとのことだったため2時間ほど話をした。こういった方をどういう形で地域包括支援センターへつなげていくか考えるのも我々の仕事だと思う。

○長岩会長

- ・従来のルートに乗らない人たちをどうキャッチしていくかというのは、各地域包括支援センターの課題としてあると思うため、引き続き協議をお願いしたい。
- ・桃花台の高齢化はこれからなのか。

○事務局

- ・令和2年10月現在で高齢化率29.7%と市の平均より高くなっており、高齢化が進んでいる状況にあると考えられる。

【Ⅶ介護予防推進事業について】

【Ⅷ認知症総合支援事業について】

- ・事務局より、資料2-1を用いて説明。
- ・質疑、主な意見は以下のとおり。

○野口委員

- ・保健センターも地域包括支援センターと一緒にサロンへ巡回をして、介護予防やフレイルチェックをしている。
- ・地域包括支援センターが行っている介護予防把握事業は、把握した人をどのような支援につなぎ、結果としてどのように変わっていくのかを教えていただきたい。

○事務局(味岡地域包括支援センター)

- ・把握事業で該当した方については受け皿となる講座やセミナー、地域のサロン等を案内してつないでいる。
- ・期間をおいて継続してフォローはできていない状況であり、年で該当した人に案内しているところでとどまっている。また、継続して相談ケースなどで上がってくる場合は、引き続きフォローしているというのが現状である。

○野口委員

- ・介護予防はその時やるだけでいいものではなく、自分自身で継続して行うことが大切である。
- ・フレイルといっても口腔機能や運動、社会的なもの等あるため、全体的なものを見ながら行っていけるとよいと思う。
- ・理想であり難しいとは思いますが住民主体の支援体制、自分たちで継続していけるような仕組み作りができればいいと感じている。

○長岩会長

- ・従来からの課題だと思うが、行事やイベントで終わらず、例えばグループワークで継続的に進めていき、そこに時々専門家が顔を出すという取組ができればいいと思う。
- ・モチベーションを保つような働きかけがないと、体調を壊したときにやめてしまう可能性があるため注意したい。
- ・小牧地域包括支援センターでは問題なく、このケースは初期集中に委ねようといった初期集中支援チームとの連携はスムーズに行えているのか。

○事務局(小牧地域包括支援センター)

- ・傾向としては、通院がまずできないといったようなケースで初期集中のチームが関わることが多いということで報告を受けている。その中でいかにして通院につなげていくかに関しては、各地域包括支援センターからスムーズに相談という形で関わっていく体制が取れていると思う。

○長岩会長

- ・通院ができない方というのは交通手段等ではなく、病識がないといったことか。

○事務局(小牧地域包括支援センター)

- ・その通りである。病識がない、または認知症の影響から通院を阻まれる方である。

○佐々木委員

- ・歯科診療所が地域の健康支援センターとして口腔機能の低下の早期発見のために、つながっていいと良いと思っているが、現実的には歯科衛生士の絶対数の不足や、悪くなってから治療すれば良いという診療所も多い。
- ・病気になる前の段階で介護予防を行うには保健センターが一番頼みやすいかと考えており、歯科医療界としては介護予防を進めようと動いていることを認識していただきたい。

○野口委員

- ・認知症の予防活動の推進について、コロナウイルスの影響もあり人との関係が絶たれていくことで認知症状が進んだという話も聞いており、人との関係性や予防の必要性を感じている。
- ・地域包括支援センターの事業計画書には予防活動の推進については随時といくつか示されていたため、具体的にどのように予防していくかを示していただけると良いと思った。
- ・認知症の予防としてコグニサイズやファイブ・コグ等があるが、やってみると自分自身難しいと感じるものも多い。みんなが認知症予防の第一歩として取り組むことができるものを広めていく活動があると良いと思う。

○長岩会長

- ・予防的な取り組みを重点的に行いつつも、認知症になってしまった際にもしっかり支える連続性のようなものが目指すべき姿ではないかと感じている。

○佐々木委員

- ・介護部門の基本的なところで高齢者が栄養をとるには咀嚼機能と栄養の指導が必要だと考えており、小牧市で食の指導ができないものかと思っている。難しいとは思いますが歯科で予防をしつかり行っていただき、一方で栄養について市を挙げて推進し、地域全体でそういった所から食の方に持っていくことはできないかと考えている。

○野口委員

- ・今年も栄養士が地域のサロンを巡回し、食に関するミニ講話を実施していきます。

○佐々木委員

- ・民生委員の方が中心になってサービスを展開するといったことは難しいか。

○木村委員

- ・民生委員も研修会を行う等、なるべく住民の方との関わりを持てるようにしているため、今の一人暮らし高齢者や障がい者といった方との関わりは少ない。
- ・一般の方にオーラルフレイルを話してもなかなか理解してくれず、まだ悪くなっていない段階で歯科医院で口腔は予防からというところまではなかなか意識が進んでいないのが現状。
- ・地域包括支援センターに来てもらうことや、保健センターのほうから出前講座を取ることで、なるべく住民の方に周知ができるような形を取っている。

【IX在宅医療・介護連携推進事業について】

【X地域包括支援センター独自の重点取り組み事項について】

- ・事務局より、資料2-1を用いて説明。
- ・質疑、主な意見は以下のとおり。

○長岩会長

- ・在宅医療・介護連携推進のところで、こまきつながるくん連絡帳というものが各地域包括支援センターから出ているが、これは何か。全部のケースで使っているわけではないと思うが、篠

岡地域包括支援センターから、用途やこういうケースで使うことが多いといった紹介をいただけることがあったらお願いしたい。

○事務局（篠岡地域包括支援センター）

- ・介護認定を受けた方に届くものにこまきつながるくん連絡帳への同意書があるため、本人に説明をしたうえでこまきつながるくん連絡帳に情報を上げて構わないという方は、こまきつながるくん連絡帳上で支援者とつながらせていただいている。
- ・訪問看護を利用されている方は忙しく、電話連絡が取れないこともあるのでこまきつながるくん連絡帳を活用させていただいている。

○長岩会長

- ・訪問看護というのは医療ニーズの高い人たちが、この電子連絡帳では優先度が高くなっているという理解でよいのか。

○事務局（篠岡地域包括支援センター）

- ・その通りである。

○田中委員

- ・それぞれの地域包括支援センターの重点的な取組の中の圏域ごとの課題分析を踏まえて、今の総合相談が複雑化・多様化してきているという話があるが、この地域でどう支えるかというところと言うと、一番今、注目している部分が地域協議会の支え合い隊みたいなものではないのかなと思っている。
- ・地域包括支援センターの方から困っている人がいるということを協議会のほうに投げてもらい、その協議会の支え合い隊で支えていくことができたというような事例があれば教えていただきたい。

○事務局（北里地域包括支援センター）

- ・今年度から2つの協議会に関わらせていただくことになっている。福祉部会の中に入らせていただいております、その中での討議の中で地域課題について意見交換を行った。実際に地域で認知症サポーター養成講座を開いてくれないかという依頼がその協議会の中で持ち上がり、そのためのプロジェクトが組まれて、小中学校で認知症サポーター養成講座を開催することになったが、協議会のメンバーも参加して小中学校でやるということが決まったことがあった。

○長岩会長

- ・南部包括では具体的に協議会絡みで個別に人を支えたことや、チームを組んで見守ったというのは何かあるか。

○事務局（南部地域包括支援センター）

- ・南部地区はそういった地域協議会が立ち上がっていないため、それぞれの区に出向いているというような状況である。他には地域密着というところで民生委員を中心に一人暮らしでない方も含めていろいろな相談をし、一緒に動いていただいているような形になっている。

○長岩会長

- ・田中委員の発言の趣旨は、包括と地域協議会がうまくつながり、具体的に個別のケースを支えるといった実績を作っていく必要があるということか。

○田中委員

- ・その通りである。今はまだ温度差があると思うが、1つのケースごとに丁寧に関わっていくことで協議会の皆さんの意識の変化や、支え合い隊そのものの仕組みという部分がしっかりとできると思うため、実績を積んでいただきたいと思っている。

○長岩会長

- ・全体を通して福澤委員はどう思うか。



#### ○福澤委員

- ・介護職員の減少が結局担当ケアマネジャーの人員不足の傾向を助長し、基本的に予防プランの実行の委託などが困難になり、インフォーマルサービスの充実そのものが、現在の小牧ではなかなか難しいような状況は気になる点である。国の施策や日本全体の社会の認識、あるいは人口動態図に影響してくるためなかなか難しいところがあるが、小牧として何ができるかということを今少し考えていかないといけないと思う。
- ・本人に認知症の認識がない方やサービスや助けを求める場所がわからない方のために、もっと底辺での情報収集や接触を行う必要があり、より連携を密にし、役割に関係なくみんなで支え合っていくことが大切であると思う。

#### ○長岩会長

- ・ニーズをどこで誰がキャッチするかという仕組みは非常に重要であり、堀江委員からも同じ提起があったが、キャッチした人がどこにつなぐのか、つながれた先のところが自分のところで解決できるのか、チームでもう少し広げて対応しないといけないのかを考える必要があると思う。
- ・小牧市は資料を見ている限り、介護サービス相談員も民生委員さんも一定数いて地域協議会や地域ケア会議、初期集中支援チームがある。点在しているのかもしれないが、人や物や機関や会議体はあると思うため、それをどううまく活用していくか、つなげていくかを行政の担当課が仕掛けをうまく引き続き作っていただく必要があると思う。

#### 【部会の事業計画について】

- ・事務局より、資料２－７を用いて説明。

#### ○事務局

- ・介護予防推進部会、権利擁護推進部会、ケアマネジメント支援推進部会、認知症総合支援推進部会の４つの部会があり、毎月定期的に部会を開催して各機関が協力しながら市全体に向けた取組を実施しているため、事業計画についてもまた御確認いただきたい。

#### （２） 第１号介護予防支援事業及び介護予防支援 業務委託契約に係る審議について

- ・事務局より、追加資料を用いて説明。
- ・質疑、主な意見は以下のとおり。

#### ○里見委員

- ・前例がない話ではあるが、がん末期というところで非常に早い対応が必要になる案件かと思う。実際、自分がケアマネジメントでがん末期に対応するときなどは、暫定プランの作成も含めて、地元の包括支援センターとやり取りという形で素早い対応を依頼しているということもあるため、必要な対応かと思う。

#### ○長岩会長

- ・異議もなく、里見委員からもあったが、がん末期の方で迅速に対応する必要があるため、委託することになった際は、サービスを利用する日に遡って認めるということで進めていただければと思う。

#### ３．報告

##### （１）介護予防プラン作成委託業者の承認案件に係る持ち回り審議結果について

- ・事務局より説明。

#### ４．閉会

